

2021 年度後期 課目案内 (*公開講座)

曜日	課目名	単位	本科/専攻科	担当講師
月	*連続公開講座「アジアキリスト教史と連盟 国外宣教を学ぶ」	4	共通選択	飯島信(前日本聖書神学校講師)/ 井形英絵(連盟宣教部国外伝道室長)
月	ギリシャ語中級	4	専攻科必修	村中範光
火	新約聖書概論	4	共通選択	坂元俊郎
火	牧会学	4	専攻科必修	友納靖史 / 古家良子 / 松村誠一
木	*公開講座「組織神学Ⅰ」	4	共通選択	朴思郁(宣教研究所所長)
木	旧約聖書概論	4	共通選択	城倉啓
金	*神学特講「ヨハネ黙示録を読む」	4	共通選択	木村一充 / 川口通治
金	礼拝学Ⅰ(礼拝の基本)	4	共通選択	藤井秀一 / 福永保昭
土	合唱	2	音楽科必修	山中臨在
土	指揮法Ⅱ	4	音楽本科必修	山中臨在
土	教会音楽実践Ⅱ	4	音楽専攻科必修	菊地るみ子
	卒業演奏	6	音楽専攻科	江原美歌子
冬期	*「介護の神学Ⅱ」(がん哲学外来を通して 見えてきた人の生と死)	2	2021.12.27-28	樋野興夫(順天堂大学教授、ガン 哲学外来理事長)

●「専攻科必修」は神学専攻科と教会教育専攻科の必修課目です。

●開講曜日および担当講師は変更する場合があります。

<東京バプテスト神学校 後期開講方針>

東京バプテスト神学校後期授業は 10 月 4 日(月)から始まりますが、新型コロナウイルス感染防止の観点から、教師、受講者の通学リスク・教室リスクを減らすことが求められています。そのため、後期においても、教会音楽科の一部の授業を除いて、基本オンラインで行います(ライブ通信、ビデオ通信)。

- ①後期入学礼拝は、10月1日(金)を予定する(出席者数の制限、ZOOM 併用)。
- ②授業開始は 10 月 4 日(月)を予定する。
- ③受講は、基本オンライン通信受講とする(ライブ通信、またはビデオ通信)。
- ④会議(理事会、スタッフ会、教師会、分科会など)は原則としてオンラインで行う。

- ・後期授業は、教会音楽科を除き、基本オンライン授業にする。
- ・10 月から始まる後期授業は、一部教室受講を認めるが、感染リスクを考慮し、人数は制限する。
- ・三密を避けるために、冬期講座等の礼拝堂使用の場合は対面受講を 40 人以内(スタッフ含)に制限する。ただし、コロナの感染状況によって変更もありうる。
- ・後期通信料は前期同様、1 課目 5 千円にする。
- ・対面授業を必要とする教会音楽科授業は感染リスクを避けるため小規模に分散して行う。また必要があれば通信授業も併用する。
- ・事務局は原則出勤し、講義終了後、講義内容を録画してビデオ配信を行う。



東京バプテスト神学校

〒112-0012 東京都文京区大塚 1-1-18

TEL:(03) 3947-5141 FAX:(03) 3947-5145

メール:seminary@tbts.jp

tbts.jp

検索

2021 年度後期 東京バプテスト神学校受講案内

本科・神学専攻科・教会教育専攻科・教会音楽本科・教会音楽専攻科・信徒リーダー養成コース・教会音楽奉仕者養成コース

【願書受付】 入学・聴講手続に必要な書類を当神学校に請求してください。
(神学校ホームページからもダウンロード出来ます。)
* 願書に必要な事項を記入の上、9 月 3 日(金)までに郵送してください。
* 専攻科・本科・信徒リーダー養成コース入学及び聴講希望者には牧師の推薦が必要です。
(但し 1 課目のみ試験聴講の方は不要です。)
* 専攻科は、後期入学は受け付けません。「聴講」のみ可能です。
* 公開講座受講者は入学手続き不要です。

【試験面接】 9 月 24 日(金)午後 6 時 30 分
* 入学・聴講面接
* 教会音楽科は、実技及び楽典の試験と面接を行います。

【入学式・オリエンテーション】
10 月 1 日(金)午後 6 時 30 分 於:茗荷谷キリスト教会
* 受講手続きがありますので受講者は全員出席してください。

【学 期】 後期 10 月 4 日(月)~2021 年 3 月 4 日(金)
<冬期休業 12 月 13 日(月)~2021 年 1 月 3 日(月)>

【休業日】 主日、水曜日、国民の祝日(但し 2 月 11 日は除きます)

【授業時間】 月曜・火曜・木曜・金曜日 午後 6 時 30 分~8 時 30 分
* 但し、教会音楽科については土曜日午前 9 時 30 分~午後 3 時 30 分

【入学金】 ・本科 100,000 円
・信徒リーダー養成コース 50,000 円
・教会音楽奉仕者養成コース 50,000 円
* 後期の専攻科入学はありません。

【受講料】 ・在学生(本科・信徒リーダー・音楽奉仕者) 1 課目 4 単位 25,000 円、2 単位 12,500 円
・聴講生 1 課目 4 単位 30,000 円、2 単位 15,000 円
(* 卒業生は面接、試験、推薦状、入学金、設備費不要)

【設備費】 一律 5,000 円(半年間、前期に 10,000 円支払い済みの方は不要)

【通信受講】 通信受講の場合、1 課目 5,000 円の通信事務費が必要です。

【聴 講】 ・どの課目も聴講可能、但し聴講生には卒業・修了資格は与えられません。
・聴講で取得した課目は本科・信徒リーダー養成コース入学時に単位として認められます。
・ある 1 課目だけ試験聴講したい方の入学金、設備費、牧師推薦状は必要としません。但し面接は必要です。
・卒業生、連盟加盟教会牧師は 1 課目 4 単位 30,000 円が半額 15,000 円となります。但し単位は取得できません。なお、後援会会員は公開講座に限り半額で受講できます。

2021 年度後期 課目案内（＊公開講座）

＊連続公開講座「アジアキリスト教史と連盟国外宣教を学ぶ」 4単位 月曜日 飯島信 / 井形英絵

・飯島信:講座では、明治以降の日本が犯して来た過ちを二度と繰り返さないことを課題としたいと思います。そのために大切なのは、アジアの国々から日本がどのように見えているのかのアジア的視点の獲得です。日本の過ちは「脱亜入欧」のスローガンに端的に示されているように、アジアを切り捨てて「富国強兵」を目指したことにありました。そのことが生み出して来た問題を知り、克服するために、アジアを知ることは必須です。アジアを知る視点の一つとして、それぞれの国におけるキリスト教の宣教の歴史を学びたいと思います。宣教の歴史は、キリスト教と土着の宗教や他宗教との軋轢、迫害の歴史を知ることでありますが、そのことを通して、他宗教との対話とは何かを考え、他国の文化や社会構造を理解する手がかりとします。

・井形英絵:協力伝道である「国外伝道」の働きとして私たちは現在、インドネシア、カンボジア、シンガポール、ルワンダに宣教師や働き人を派遣/派遣協力し、その人々の現地教会・団体との協働につなげられ、祈りと献げものによって共に宣教に参加しています。またタイや韓国とは人財派遣や交流を通してつながられています。連盟の「戦争責任に関する信仰宣言」(87 年)はアジアに派遣されていた宣教師の問いかけに応える形で整えられたと聞いており、その後の「国外伝道」を方向づける大切な土台となっていきました。そして時代の流れの中で宣教の広がりや深まりに導かれて始まった「和解のつとめに仕える」(2011 年～)はまさに国外伝道・宣教のテーマです。「国外伝道」・国際協力の歴史や現在の姿を共有し、そこから聞くことを通して、宣教の豊かさや問いかけを分かち合うことができればと思います。

「ギリシャ語中級」 4単位 月曜日 村中範光

ギリシャ語中級では、マルコ福音書を読みながら、初級で学んだ文法の復習とさらなるギリシャ語への学びを続けます。後半では3節ずつ発表する機会が与えられます。また釈義の学びに入ります。＜テキスト(ギリシャ語)＞:マルコ福音書1, 1～(最初の授業で配布)＜文法書＞初級での文法書「エレメンツ」＜推薦図書＞「新約聖書の本文研究」B. M. メツガー・橋本茂男・聖文舎・6,000 円、「書物としての新約聖書」田川健三・勁草書房・8,800 円

「新約聖書概論」 4単位 火曜日 坂元俊郎

①クラスの内容:新約聖書各巻を概略的に学ぶ。多様な聖書理解があることを知る。受講生の自主的学習、共同学習を大事にする。教会の現状や身近な課題と結びつけつつ学ぶ。②評価について:参加度、発言状況、出席率など考慮する。③参考図書:「教養としての聖書入門(松尾節著、ヨルダン社)」、「新約聖書を読もう(四竜揚著、教団出版局)」、「新約聖書(G・ポルンカム著、新教出版社)」、「新約聖書(G・タイセン・大貫隆著、教文館)」、「EKK 新約聖書注解(教文館)」,その他

「牧会学」 4単位 火曜日 友納靖史 / 古家良子 / 松村誠一

・友納靖史:テキスト『牧会者の神学』より問われる、神と他者また自分に「聴く」こと、「祈り・聖書・霊的導き」を生活に活かすためのバランス感覚(信仰)をどう育むかを学び、分かち合う。また「牧会」という長い旅路を主と共に健全に歩ませて頂くために必要な携行品(全人的苦痛とケア・境界線<パウンダリス>・レジリエンス<回復力>等)の理解も深めたい。

・古家良子:今日の高齢社会に立つ教会において、高齢者人口は高く、その課題と取り組みは現実となっています。ライフスパンにおける高齢期の課題と教会の牧会的役割を、一緒に考えてまいります。その中で、聖書の登場人物の中から選び、その人の生涯と神のご計画を読み解いていきたいと思います。

・松村誠一:バプテスト教会における牧師の職務を確認しつつ、教会学校を通しての牧会、ウイークデーミニストリーにおける牧師と信徒の働き、また信仰の継承について具体的事例を紹介しつつ学んでいく。

＊公開講座「組織神学Ⅰ」 4単位 木曜日 朴思郁

本講義は、組織神学の基本的な概念、主題などを学習することにより、神学的知識を熟知するとともに神学的思考を深めることを目指します。そのために組織神学の主要な主題(神学方法論、神論、人間論、キリスト論、聖霊論、救済論、教会論、終末論など)を「神と世界」、「イエス・キリストと人間」、「聖霊と共同体」の三つに区分して主な内容と争点を扱おうとしています。「公開講座・組織神学Ⅰ」では、「神と世界」、「イエス・キリストと人間」を中心に講義を行い、私たちの置かれている状況を踏まえて関連の講義を加える予定です。基本的には、ダニエル・L.ミグリオリ『現代キリスト教神学—理解を求める信仰(上)』をテキストにする講義を通して組織神学の主な内容を概括的に学びたいと思います。「コロナ時代」という大きな転換期を迎えている私たちが、組織神学の学びを通して、今日における信仰のあり方をはじめ教会形成や福音宣教の充実を図ることを期待しています。

「旧約聖書概論」 4単位 木曜日 城倉啓

・目標:①講義期間中に旧約聖書を通読し、旧約聖書全体についての理解を深める。②正典としての旧約聖書についての理解を深める。③歴史的文書である旧約聖書各巻の内容を把握する。④説教準備・釈義の一部である本文批評についての知識を得る。

・参考文献:C.レヴィン、山我哲雄訳『旧約聖書—歴史・文学・宗教』(教文館、2004 年、池田裕ほか)、『新版総説旧約聖書』(日本キリスト教団出版局、2007 年)、T.C.レーマー、山我哲雄訳『申命記史書—旧約聖書の歴史書の成立』(日本キリスト教団出版局、2008 年)、その他

＊神学特講「ヨハネ黙示録を読む」 4単位 金曜日 木村一充 / 川口通治

ヨハネ黙示録はローマ皇帝ドミティアヌスの治世(81～96 年頃)末期、ローマ皇帝によるキリスト教への大迫害という状況下に書かれた。ローマ皇帝はこの書において、「角」、「獣」と呼ばれている。迫害の下にある教会に対して、著者ヨハネはキリストの証人として、信仰に毅然として生き抜くべきこと、招かれたキリスト者が共に住む天の教会を指し示し、新しいエルサレムへの希望を与えることを目的としている。ヨハネ黙示録は本来迫害に苦しむ信徒を励ますために書かれた手紙であるが、後世には歴史を超える終末預言として読まれ、多くの異端的、反社会的な宗教活動の源泉になってきた。その書を二人の牧師の釈義を通して読み解く。

「礼拝学Ⅰ(礼拝の基本)」 4単位 金曜日 藤井秀一 / 福永保昭

「キリスト者の礼拝—神学と実際」をテキストにして、キリスト教の礼拝についてさまざまな領域(神学、歴史、実践等)から、広く考察します。学生の方は、事前にその日のテキストを読んだ上でクラスに参加します。クラスの進め方は、講師による解説ののち、その日のテキストのポイント、疑問点の確認と、さらなる深掘りと展開を、講師と参加者同士のディスカッションによってすすめるスタイルとします。

「合唱」 2単位 土曜日 山中臨在

合唱は合唱受講生(神学生、一般)、卒業生、及び教師により構成する。授業は週一回。単位修得のためには、授業出席の他、教師によって求められる課題を提出すること。教会音楽科演奏会及び、本合唱グループの演奏には積極的に参加すること。本授業は教会音楽科学生在学中は履修を必修とする。

「指揮法Ⅱ」 4単位 土曜日 山中臨在

指揮法基礎の応用。指揮法Ⅰで学んだ指揮の基本的パターンを用いて、実際の讃美歌で応用する。讃美歌の作詞者、作曲者、讃美歌が作られた背景などの学びから、より豊かな指揮を学んでいく。また、簡単な聖歌隊曲の指揮を学ぶ。

「教会音楽実践Ⅱ」 4単位 土曜日 菊地るみ子

本授業は、教会音楽専攻科の学びのまとめ。教会音楽プログラムの訓練法。会衆賛美の学びと実践。教会音楽牧師(主事・リーダー・責任者等)と信徒のチームワーク。関係づくり・礼拝堂と音響や設備、礼拝の可能性。他教会見学、牧師、音楽牧師との面談などのフィールドワーク。最終的に教会音楽フィロソフィーを確認し、論文を提出する。